

令和4年度

小松島市地域公共交通活性化協議会

バスの再編方針 (案) について

01. バスの再編方針 (案) について

(1) 令和4年度第3回協議会のおさらい

乗降調査から見える傾向

- ・和田島線(昭和町経由)は平日朝・夕ピークの利用者は多く、昼間利用者は少ない。
- ・一方で、和田島線(イオンモール経由)は平日昼も利用。
- ・目佐和田島線、小松島立江線、田浦線は平日・休日とも1日の乗車数が30人以下、特に田浦線は平日・休日とも利用者が10人以下。

アンケートから見える傾向

【市民アンケート】

- ・路線バスの維持・充実は全体の8割程度の方が「必要・やや必要」と回答。
- ・小松島市でのデマンド交通の利用意向については、全体で約6割が「利用する・たまに利用する」と回答、普段自動車を利用されていない方に絞った場合でも、約5割が「利用する・たまに利用する」と回答。利用意向がうかがえる。
- ・自由意見では、バス停の屋根やベンチ等の設備を求めている意見も多い。

【中学生アンケート】

- ・現在の休日の移動は進学塾やイオンモール徳島・ルピアといった商業施設を目的地とした移動が多く、移動手段は家族等の運転による自動車、自転車が突出。
- ・進学予定先への移動手段は自転車が最も多く、鉄道、自動車(家族等の送迎)の順で多い。
- ・小松島市でのデマンド交通の利用意向については、全体の約4割の方が「利用する・たまに利用する」と回答、進学予定先へ鉄道・路線バスを利用予定の方に絞った場合は約5割が「利用する・たまに利用する」と回答。

【公共交通アンケート】

- ・和田島線の存続を希望する声がその他意見では多い。
- ・デマンド交通は「利用する・たまに利用する」が約4割おり、試験的導入は有効。
- ・バスの小型化やバス停のベンチや屋根等の設備を求めている意見も多い。
- ・小松島市老人等バス無料優待証は公共交通利用者の多くの方が認知・利用、現行制度のままの維持を求められており、免許返納後の交通手段も路線バスが最も多くなっているが、一方で全額無料は見直すべきとの意見。

考えられる見直しイメージ

【わかったこと】

- ・田浦線は乗車人数が少ない
- ・市中心部を除き徳島バス勝浦線と路線が重なっている



【見直しイメージ】

- ・協定路線の田浦線を幹線路線の勝浦線に統合

- ・和田島線(昭和町経由)は朝・夕と昼間の利用者の差が大きい
- ・和田島線存続希望の意見



- ・朝・夕は定時定路線での運行
- ・昼間は市内完結のデマンド試験的導入
- ・イオンモール経由との統合

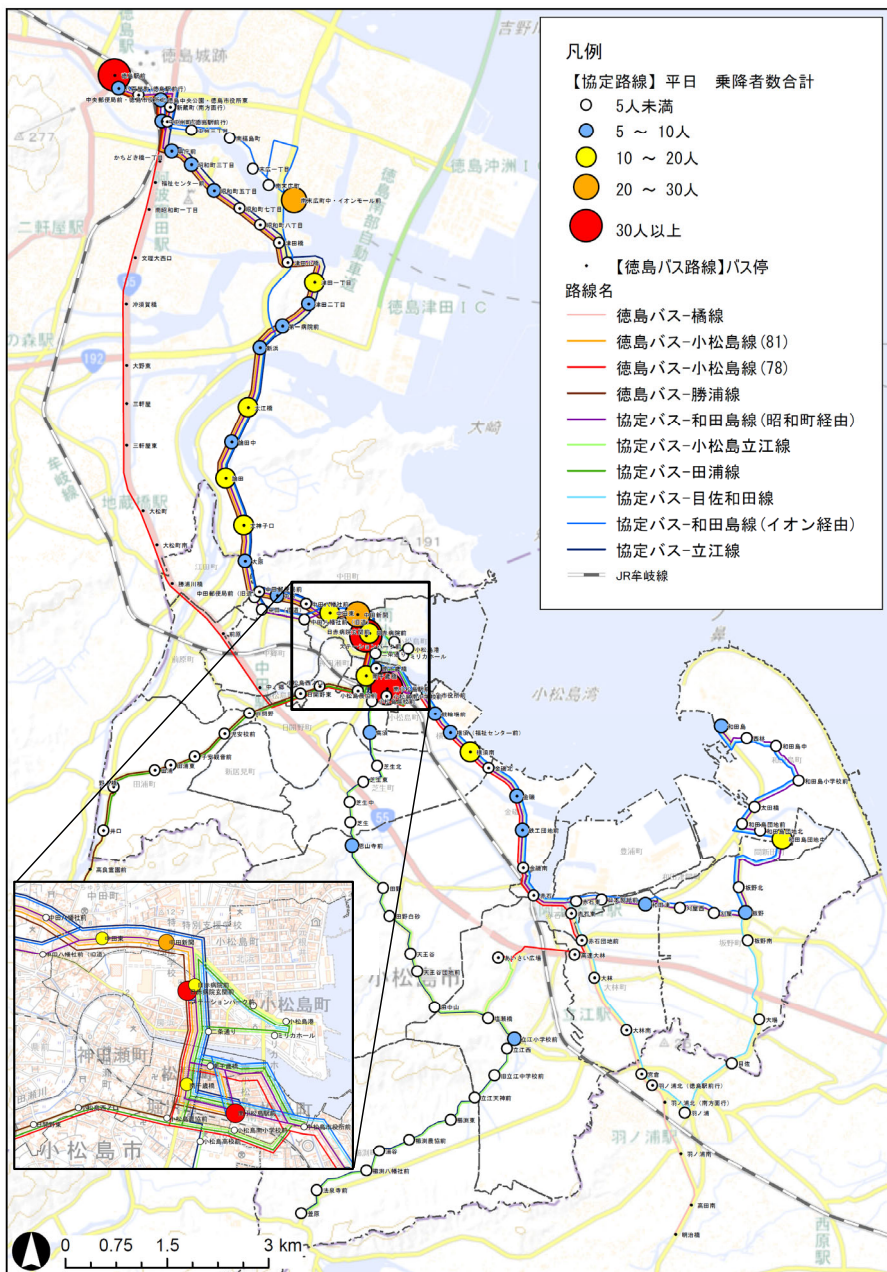
- ・小松島立江線は田浦線より利用者は多いが、相対的に少なく、立江線と路線が重なる箇所が多い



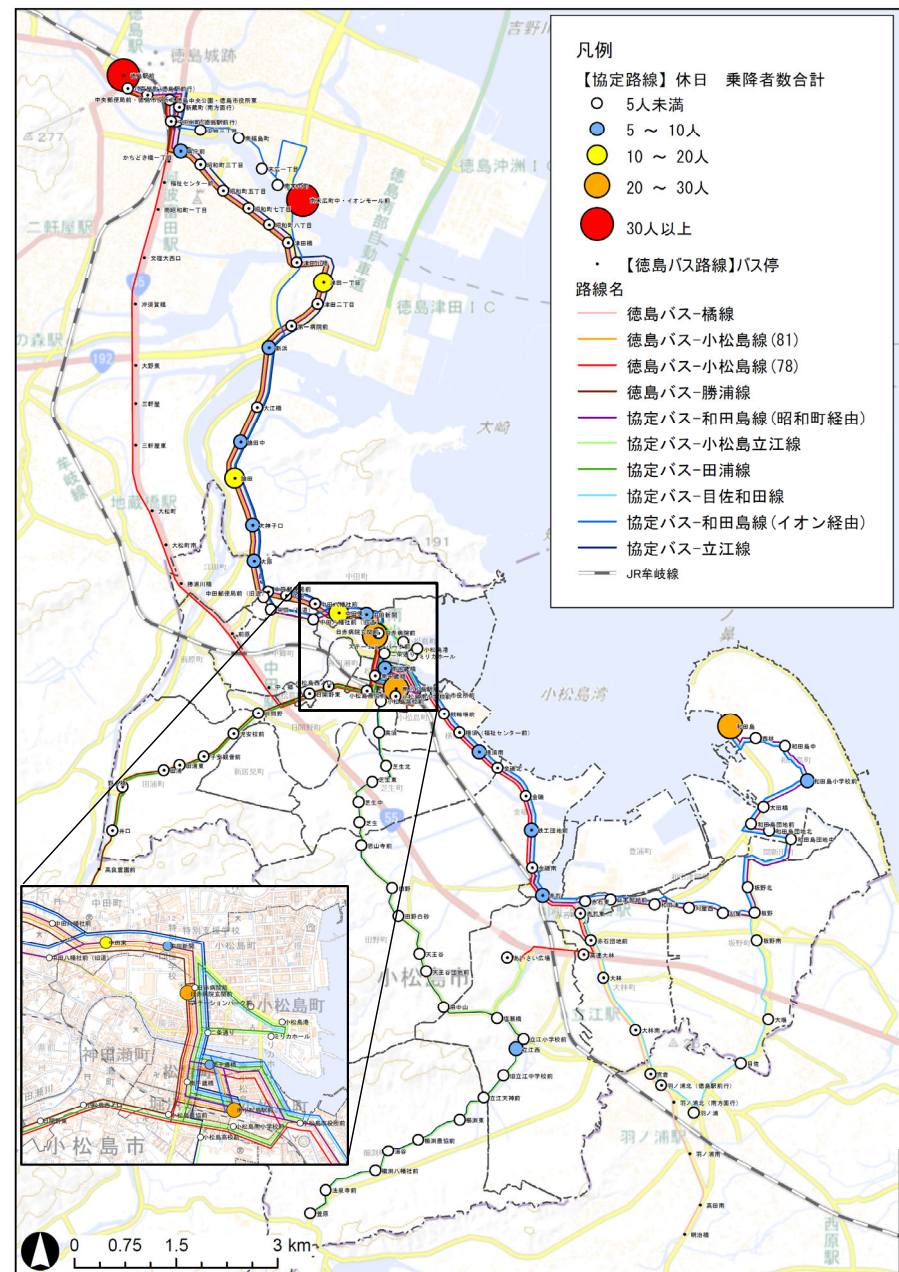
- ・平日昼間など利用者が少ない時間帯は立江線への統合やデマンドを検討

(1) 令和4年度第3回協議会のおさらい

▼バス路線図(協定路線の平日乗降者数の分布)



▼バス路線図(協定路線の休日乗降者数の分布)



01. バスの再編方針(案)について

(2) 現状のバス路線の整理

・小松島市を通る路線バス(協定路線、幹線路線)の現状として、運行便数・乗車人数(R3乗降調査)を以下の通り整理した。

路線	起点	主な経由地①	主な経由地②	主な経由地③	終点	運行便数 (平日)	運行便数 (休日)	乗車人数 (R3乗降調査:上下合計)	
協定 路線	和田島線 (昭和町経由)	徳島駅	県庁前	南小松島駅	坂野	和田島	上り4便 下り4便	上り4便 下り4便	平日:95人 休日:35人
	和田島線 (イオンモール経由)	徳島駅	イオンモール徳島	南小松島駅	坂野	和田島	上り4便 下り4便	上り4便 下り4便	平日:74人 休日:98人
	目佐和田島線	サウンドハウスホール	南小松島駅	羽ノ浦	坂野	和田島	上り3便 下り2便	上り3便 下り2便	平日:27人 休日:10人
	立江線	徳島駅	県庁前	南小松島駅	恩山寺前	萱原	上り6便 下り7便	上り6便 下り7便	平日:120人 休日:65人
	小松島立江線	小松島市役所前	サウンドハウスホール	南小松島駅	恩山寺前	萱原	上り3便 下り2便	上り3便 下り2便	平日:16人 休日:5人
	田浦線	小松島市役所前	サウンドハウスホール	南小松島駅	田浦	井口	上り3便 下り3便	上り3便 下り3便	平日:9人 休日:1人
幹線 路線	勝浦線	徳島駅	県庁前	南小松島駅	田浦	勝浦町横瀬西	上り10便 下り10便	上り9便 下り8便	平日:328人 休日:131人
	橋線	徳島駅	県庁前	南小松島駅	羽ノ浦南	阿南市橋西	上り15便 下り14便	上り13便 下り13便	平日:523人 休日:211人
	小松島線 (津田経由)	徳島駅	県庁前	→	→	南小松島駅	上り3便 下り3便	上り2便 下り2便	平日:38人 休日:19人
	小松島線 (バイパス経由)	徳島駅	文理大西口	南小松島駅	小松島市役所前	あいさい広場	上り5便 下り5便	上り5便 下り5便	平日:73人 休日:38人

※R3乗降調査の調査日

【協定路線】(平日) 令和3年10月14日(木)

(休日) 令和3年10月17日(日)

【幹線路線】(平日) 令和3年6月8日(火)、15日(火)、23日(水)、28日(月)、7月2日(金)、6日(火)、8日(木)、9日(金)、12日(月)、15日(木)、16日(金)、9月10日(金)、21日(火)

(休日) 令和3年9月4日(土)、5日(日)、11日(土)、12日(日)、19日(日)、23日(木祝)、25日(土)、26日(日)、10月2日(土)、9日(土)、10日(日)、16日(土)、23日(土)、31日(日)

01. バスの再編方針(案)について

(3) バスの再編方針(案)

- ・現状を踏まえ、持続可能な公共交通を目指すため、路線バスの系統毎に再編方針案を以下の通り整理した。
- ・幹線路線は、市内と他都市とを結ぶ広域移動手段であり、市内の移動にも対応できる交通手段として位置づける。
- ・協定路線は、幹線路線との接続や通勤・通学・通院等を、主に市内の需要に応える路線として位置づける。

系統	具体的な案	根拠
① 勝浦線(幹線路線:徳島駅行き) 田浦線(協定路線:市内完結)	・勝浦線(幹線路線)に重複する田浦線(協定路線)を統合	・田浦線は平日・休日とも乗車人数が9人以下と少ない ・勝浦線の運行便数は上り下り各10便程度と多く、田浦線利用者の捕捉が可能と判断
② 1)和田島線(昭和町経由徳島駅行き) 2)和田島線(イオンモール経由徳島駅行き) 3)目佐和田島線(市内完結)	・一体的運用にシフト ・朝・夕時間帯の和田島線は当面継続 ・昼間の和田島線は、目佐和田島線と同様に、市内完結路線へ部分移行	・和田島線(昭和町経由)は朝・夕ピークの利用者が多く、通勤・通学時間帯の徳島駅までの移動手段の確保は現時点では必要と判断 ・和田島線(イオンモール経由)は協定路線の休日乗降調査で最も乗車人数が多く、イオンモール・徳島駅への移動手段の確保は現時点では必要と判断 ・目佐和田島線は代替する路線がないこと、昼間の和田島線の代替路線となることから、当面の継続が必要と判断
③ 1)立江線(徳島駅行き) 2)小松島立江線(市内完結)	・一体的運用にシフト ・立江線は小松島立江線へ部分統合	・立江線は協定路線の平日乗降調査で最も乗車人数が多く、特に朝・夕ピークの利用者が多く、通勤・通学時間帯の徳島駅までの移動手段の確保は現時点では必要と判断